

県と市の課題整理 検討状況

項目	災害時・危機管理対策（食の安全・安心）
<p style="text-align: center;">現状と課題</p>	<p>（現状）</p> <p>○ 食品衛生行政は県と市で管轄を異にしており、広域的に流通する食品に起因した健康被害の発生又は健康被害のおそれがある場合、県と市それぞれの区域で対応している。</p> <p>（課題）</p> <p>○ 食品の流通や健康被害にかかる調査は、県と市の一体化が不可欠であるが、指揮命令系統の違いが、時として迅速な対応の障害となりかねない。</p>
<p>当面の解決方向性と 想定される制度的問題点</p>	<p>（当面の解決方向性）</p> <p>□ 保健所業務の中で広域的対応が求められる業務の一元化の検討</p> <p>（想定される制度的問題点）</p> <p>□ 県と政令市間の役割分担の見直し</p>
<p>検討状況と今後の予定</p>	<p>◆ 現行制度下での改善案について検討を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協定締結等による意思決定の迅速化 ・ 危機情報の迅速な公表 など

項目	感染症対策（防疫対策）
<p>現状と課題</p>	<p>（現状） ○ 防疫対策は県と市で管轄を異にしており、県と市それぞれの区域で対応している。</p> <p>（課題） ○ 新型インフルエンザ対策のように広域的な対応が必要なケースにおいて、指揮命令系統の違いが迅速な対応の障害となりかねない。</p>
<p>当面の解決方向性と想定される制度的問題点</p>	<p>（当面の解決方向性） □ 保健所業務の中で広域的対応が求められる業務の一元化の検討</p> <p>（想定される制度的問題点） □ 県と政令市間の役割分担の見直し</p>
<p>検討状況と今後の予定</p>	<p>◆ 現行制度下での改善案について検討を開始。 ・ 協定締結等による意思決定の迅速化 ・ 新型インフルエンザ対策専門委員会の合同開催 など</p>

項目	住環境の整備
現状と課題	<p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市内には、市営住宅と県営住宅の双方が立地している。 ○ 県営住宅の一部は、市有地を借地して建設されており、市営住宅に隣接している県営住宅も存在する。 ○ 新潟市外の県営住宅は、事務処理特例制度により市町村が管理をしている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者にとっては、県営・市営の区別は関係なく、県市の独自管理・運営により、利用者の「利便性」や「わかりやすさ」が損なわれているのではないか。
当面の解決方向性と想定される制度的問題点	<p>(当面の解決方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 新潟市への管理・運営の一元化 <p>(想定される制度的問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事務処理特例により県営住宅を市で管理する場合、指定管理者制度による管理が行えない。
検討状況と今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新潟市住環境政策課と新潟県建築住宅課において、一元化に向けた各種手法のメリットや課題について検討を開始。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請窓口の一本化 ・ 管理代行 ・ 事務処理特例 ・ 事業主体の変更 ◆ 申請手続きの違いによる窓口でのトラブルを避けるため、窓口の一本化と併せて申請手続きや管理制度の一元化を検討する必要がある。 ◆ どの選択肢にもメリット・デメリットがあるため、今後、どのような手順で一元化を進めていくのが最も効果的・効率的かなど、引き続き検討予定。なお、その際には、管理代行や指定管理の契約更新時期などを念頭に置きながら検討を進める。

項目	文化・スポーツ施設
現状と課題	<p>(現状) ○ 新潟市内には、野球場、図書館、文化会館など県立・市立の施設が併存しがちである。</p> <p>(課題) ○ 役割分担や補完し合いながら競い合い住民サービスの向上に努めているところもあるが、住民目線で重複している部分もある。</p>
当面の解決方向性と想定される制度的問題点	<p>(当面の解決方向性) ■ 体育施設、文化会館など、新潟市内には多数の施設を県、市がそれぞれ設置しているが、まずは、隣接かつ類似施設と考えられる「新潟県民会館」と「りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)」、「新潟市音楽文化会館」を素材として、試行的に調査研究を開始。</p>
検討状況と今後の予定	<p>◆ 今後、下記取り組みの可能性について検討実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設予約システムの一元化 ・ チケット予約システムの一元化 ・ 各種委託契約の一本化 ・ 人事交流 ・ 自主事業企画の共同化 ・ 中長期的な方向性の検討 <p>◆ 中長期的には、文化・スポーツ施設の一体的管理の可能性について検討していく過程で、二重行政の排除に加え、広域的利活用の視点に立って、より効果的・効率的な管理運営手法を検討する。</p>

項目	災害時・危機管理対策（特別高度救助隊）
<p style="text-align: center;">現状と課題</p>	<p>（現状）</p> <p>○ 特別高度救助隊は、省令により東京都のほか各政令市に配置されているが、協定等により県内外を問わず人命救助活動などで活躍している。</p> <p>○ 一方、日常的には、高度・専門的な救助活動だけでなく、新潟市内で通常の消防活動や交通事故、水難、特殊災害などの救助活動を担っている。</p> <p>○ 特別高度救助隊は新潟市の指揮下にあるが、新潟市と新潟市域外で同時に重篤な災害等が生じた場合には、県の災害対策本部で全県域の被害規模・状況に応じ調整が図られることとなっている。</p> <p>（課題）</p> <p>○ 常に新潟県全域の安全性を今以上に高めていくため、様々な事態に対応できる取組が重要である。</p>
<p>当面の解決方向性と 想定される制度的問題点</p>	<p>（当面の解決方向性）</p> <p>□ 大規模災害時等には、県の災害対策本部で調整を行う仕組みがあるが、上記の課題に対応するため、隊をより効率的に運用するための検討が必要である。</p> <p>（想定される制度的問題点）</p> <p>□ 省令の配置基準にこだわらず、特別救助隊、高度救助隊、場合によっては通常の救助隊であっても、特別高度救助隊と同等に資機材を装備することはできるが、人材養成・財源手当の確保が必要である。</p>
<p>検討状況と今後の予定</p>	<p>◆ 今後、県全域での調整能力の高度化と習熟に向けた検討・共同研究を進めていく予定。</p>